

# 局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

<b>局名</b>	<b>環境局</b>
-----------	------------

<b>基本計画</b>	柱	環境を未来に引き継ぐ
	大項目	世界に広がる市民環境力の発揮
	取組みの方針	環境活動と地域コミュニティ活性化の好循環

担当局 / 総務担当課名	環境局	総務課
連絡先	582-2182	

21年度計画

-1-(1)-

<b>施策名</b>	<b>地域コミュニティ活動の支援</b>
------------	----------------------

<b>施策の概要</b>	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	一般廃棄物の減量化・資源化促進のため、次の事業を通じ、町内会の市民団体による古紙の集団資源回収活動を支援する。 奨励金制度:回収量に応じて奨励金を市民団体に支払う、保管庫貸与制度:回収した古紙を保管する倉庫を市民団体等に貸与する、地域調整奨励金制度:未回収地域の解消を図るため、まちづくり協議会に回収量に応じた奨励金を支払う。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	環境活動と地域コミュニティ活性化の好循環

	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)		現状値		平成21年度	目標値	
	年度	21	計画	実績		年度	23
<b>施策の成果</b>	年間古紙回収量	30,519トン	計画	34,000 トン	年度	23	
	古紙回収量が計画に満たなかった。これは、平成20年末からの不況の影響を受け、チラシやダイレクトメールなどの紙流通量が減少したことに伴い、本市でも古紙回収量が落ち込んだものと考えている。	30,519トン	実績	30,519 トン	目標値	35,000トン	
	古紙回収に取り組みまちづくり協議会数	114	計画	135 団体	年度	23	
	本市全まちづくり協議会(135団体)の参加を目指す。	114	実績	114 団体	目標値	135団体	
			達成度	89.8 %			
			達成度	84.4 %			
<b>コスト</b>	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]	事業費	271,306 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)			
		うち一般財源	271,305 千円	12,150 千円			

## 局施策に対する担当局の評価

<b>局施策の評価</b>	21年度評価	主な分析理由
<b>成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。</b>	<b>A</b>	年間古紙回収量は計画比、約9割の達成度(理由:不況の影響など)行政が回収するよりも低コストかつ市民の利便性が高い手法である 古紙の市況変動の影響を受けず継続して回収を行うための取り組みとして最適な手法である また、住民同士が顔を合わせる集団資源回収活動は、地域コミュニティの活性化を促すほか、奨励金が地域の貴重な活動資金となっている
		<b>今後の局施策の方向性</b>

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

## 評価担当部署の意見

適切な評価  下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。

施策名 地域コミュニティ活動の支援

構成事業名	事業費		事業にかかった 人件費の目安 (21年度)	経費分類 裁量的経費 義務的経費 特別経費(重点) 特別経費(臨時)	今後の方向性			
	C時点[21年度:執行額]				21年度			21年度
古紙リサイクル推進事業			271,306 千円	12,150 千円	裁量的経費			ウ
事業費のうち一般財源			271,305 千円					
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				
			千円	千円				
事業費のうち一般財源			千円	千円				

局施策全体のコスト	21年度	
	事業費	人件費(目安)
	271,306 千円	12,150 千円
施策全体の事業費のうち一般財源	271,305 千円	

局施策の  
21年度評価

**A**

【局施策評価】  
 A: 大変良い状況にある  
 B: 概ね良い状況にある  
 C: 概ね良い状況とまでは言えない  
 D: 不十分な状況にある

【事業の今後の方向性】 ア: 事業の見直しを図ることが可能 イ: 休止・廃止を検討 ウ: 現状のまま進めることが適当 エ: 終了

# 事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	環境局	循環社会推進課
連絡先	582-2187	

基本計画	柱	環境を未来に引き継ぐ
	大項目	世界に広がる市民環境力の発揮
	取組みの方針	環境活動と地域コミュニティ活性化の好循環
	主要施策	地域コミュニティ活動の支援

関連計画	北九州市環境基本計画
事業期間	平成6年度～
経費区分	裁量的経費

- 1 - (1) -

事業名	古紙リサイクル推進事業
-----	-------------

事業の概要	何(誰)をどのよう状態にしたいのか。	一般廃棄物の減量化・資源化促進のため、次の事業を通じ、町内会の市民団体による古紙の集団資源回収活動を支援する。 奨励金制度:回収量に応じて奨励金を市民団体に支払う、保管庫貸与制度:回収した古紙を保管する倉庫を市民団体等に貸与する、地域調整奨励金制度:未回収地域の解消を図るため、まちづくり協議会に回収量に応じた奨励金を支払う。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	地域コミュニティ活動の支援	成果

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由
		当初計画	年度目標なし	年度目標なし	平成13年度設定 平成23年度 目標回収量35,000トン	次期長期構想にて設定	
現状	古紙回収量34,000トン(予算) 古紙回収量30,519トン(実績)	32,200トン(予算)	30,500トン(予算)	次期長期構想にて設定	→		
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)					平成21年度	目標
	年間古紙回収量	計画	34,000 トン	年度	平成23年度		
	古紙回収量が計画に満たなかった。これは、平成20年末からの不況の影響を受け、チラシやダイレクトメールなどの紙流通量が減少したことに伴い、本市でも古紙回収量が落ち込んだものと考えている。	実績	30,519 トン	内容	35,000トン		
	古紙回収に取り組みまちづくり協議会数	計画	135 団体	年度	平成23年度		
本市全まちづくり協議会の参加を目指す。	実績	114 団体	内容	135団体			
達成度		84.4 %					
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]	事業費	271,306 千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)			
		うち一般財源	271,305 千円	12,150 千円			
単年度計画	[図表: 単年度計画の推移]						

【事業の実施結果・進捗状況の確認】	
実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。 平成20年末からの不況の影響を受け、チラシやダイレクトメールなど紙流通量が減少したことに伴い、本市でも古紙回収量が落ち込んだ。

【事業の再検証】			
評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	住民同士が顔を合わせる集団資源回収活動は、地域コミュニティの活性化を促す。また、ごみの減量化・資源化による、ごみ処理量の削減効果や地球環境を大切にす3R意識の醸成に役立っている。
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	古紙を行政回収するよりも低コストであり市民の利便性も高い。また、古紙回収量に応じた奨励金は、町内会や子ども会等の貴重な活動資金であり、制度維持を望む声が多くある。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	4	リサイクルされている古紙が、家庭ごみとして排出され、本市のごみ処理事業に大きな負担がかかる。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なのか、市の関与をなくすることはできないのか。	4	古紙の市況変動を受けずに継続して実施可能な主体としては、本市においては他に考えられず、本市が実施主体として継続することが適当であると考えている。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。 ア:事業の見直しを図ることが可能 イ:休止・廃止を検討 ウ:現状のまま進めることが適当 エ:終了	ウ	本事業は、平成18年度に行った家庭ごみ収集制度の見直しとあわせ、ごみ減量とリサイクル率向上の大きな柱として位置つけた事業であり、資源循環型社会の実現に向けて取り組んでいる本市において、必要な事業であり、今後も継続して、行うことが適当であると考えている。 なお、平成23年度の予算編成作業においては、実績を考慮し、不要額の抑制を図るよう努める。